



報道関係者各位

2026 年 8 月 26 日（水）

デジタルハリウッド大学[DHU] 本学の「現実科学研究所」と 雨ニモマケズ高等学校が連携



文部科学省認可の株式会社立大学として、デジタルコンテンツと企画・コミュニケーションを学ぶ 4 年制大学「デジタルコミュニケーション学部」と、理論と実務を架橋し新たなビジネスを創出する専門職大学院「デジタルコンテンツ研究科」を設置するデジタルハリウッド大学（DHU、所在地：東京都千代田区、学長：藤井直敬）は、このたび本学の「現実科学研究所」と雨ニモマケズ高等学校が連携し、高校と大学教育の接続をテーマとした新たな教育を開始します。



< 2026 年 8 月 26 日に開催した記者発表会の様子 >





【デジタルハリウッド大学「現実科学研究所」について】

デジタルハリウッド大学「現実科学研究所」は、2026年7月31日に開設した学長直轄の研究機関です。研究者、クリエイター、産業界、行政など、異なる領域の人々が一つのテーブルに集まり、研究によって生まれた知を社会に実装し、その実装から新たな学びや研究テーマを生み出す「知の循環」を生み出すことを目指しています。今回の連携は、これらの考え方を高校という教育現場へ広げる最初の実践の一つです。高校生が大学の知に触れるだけでなく、大学側も高校生の視点や実践から新たな問いを得ることで、一方向ではない教育・研究の循環をつくります。

【今回発表した主な取り組み】

雨ニモマケズ高等学校とデジタルハリウッド大学「現実科学研究所」が連携し、高校生を対象としたラボを設置します。大学の教員から知識を学ぶだけでなく、自ら問いを立て、調査し、つくり、試し、発表する一連のプロセスを通じて、高校生が大学レベルの研究やクリエイティブに触れる実践的な学びの場として展開します。

今回の取り組みでは、現実科学研究所をハブとして、研究者、クリエイター、企業、行政、地域など、多様な人々と高校生をつなぐことを目指します。高校生が「教えられる側」とどまるのではなく、一人の参加者として社会の中にある問いに向き合い、大学生や研究者、社会人とともに考え、形にする経験を積むことで、その後の進路や学びにつながる機会を創出します。

※各事業の詳細については、今後の実施内容にあわせて順次発表します。

【連携協定締結式を実施】

2026年8月26日に本学で開催した記者発表会では、両者による連携協定締結式を実施しました。以下の登壇者が出席し、今回の連携の背景や今後の展望について発表しました。

■登壇者

雨ニモマケズ高等学校 校長 大崎洋氏
学校法人幸和学園 理事長 新谷耕平氏
雨ニモマケズ高等学校 特別講師 山本新九郎氏
株式会社 Wick 代表取締役社長 中道慶謙氏
デジタルハリウッド大学 学長 藤井直敬
デジタルハリウッド大学 特任教授 田中悠斗

■デジタルハリウッド大学 学長 藤井直敬 コメント

デジタルハリウッド大学はつくる人をつくる場です。「世界を満たせ」をミッションに、つくるための強い意志とそれを社会に届ける責任をもつクリエイターを育てます。今回の提携により、雨ニモマケズ高等学校の皆さんは「世界を満たす」我々の仲間になります。本学の教員や学生との交流を通じて、クリエイターとしての可能性を大きく広げていただければ嬉しく思います。

■雨ニモマケズ高等学校 校長 大崎洋氏 コメント

高校の三年間は、誰かと比べるための時間ではありません。自分と出会うための時間です。この連携で、生徒たちは高校にしながら、大学の先生や学生、社会で本気で生きる大人たちと出会えます。遠回りも寄り道も、ぜんぶ学びになる。デジタルハリウッド大学の皆さんと一緒に、子どもたちの心の灯を大きく育てていけることを、心から嬉しく思います。そのままのあなたで、この新しい学びの場においでください。

【雨ニモマケズ高等学校について】





元吉本興業ホールディングス会長の大崎洋氏が校長に就任し、2027 年 4 月に開校予定の広域通信制・単位制の普通科高校です。

【デジタルハリウッド大学 [DHU]】

<https://www.dhw.ac.jp>

2005 年 4 月、文部科学省認可の株式会社立の大学として東京・秋葉原に開学(現在の所在地は東京・御茶ノ水)。デジタルコミュニケーション学部(4 年制大学)とデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置している。

2026 年 4 月、二代目学長に藤井直敬が就任。初代学長・杉山知之が示した「すべてをエンタテインメントにせよ」を拡張し、新たな教学ヴィジョンとして「世界を満たせ」を掲げる。

デジタルコミュニケーション学部では、不確定で予測不能な未来を自分らしく生き抜く力を身につける。デジタルコンテンツ(3DCG/VFX、VR/AR、ゲーム、映像、グラフィック、Web デザイン、メディアアート、プログラミング等)と企画・コミュニケーション(ビジネスプラン、マーケティング、広報 PR 等)を産業界の第一線で活躍する教員から幅広く学べる一学部一学科制を採用。さらにグローバル人材を育成するために外国語の重点的な学習プログラムを備え、留学を推進している。世界 49 か国・地域出身の学生が在籍し、御茶ノ水駅前で多様性に富むキャンパスを運営している。

デジタルコンテンツ研究科では、超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、創発的学究領域 [SEAD (Science / Engineering / Art / Design)] の 4 要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により「令和 7 年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中 17 位、私立大学 7 位となっており、多数の起業家を輩出している。

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室：川村

mail: press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト: <https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

